

福島第一 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約：11/7)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)	
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)		倍率 (/)
I-131 (約8日)	平成23年11月5日 11時25分～11時55分	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	平成23年11月5日 11時25分～11時55分	7.8E-05	0.04	2.5E-04	0.13	5.1E-05	0.03	1.2E-04	0.06	2E-03
Cs-137 (約30年)	平成23年11月5日 12時27分～12時57分	1.0E-04	0.03	3.1E-04	0.10	6.7E-05	0.02	1.8E-04	0.06	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

・ E- とは、 $\times 10^{\text{ }}$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約：11/7)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南東側(横方向))				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	装置不具合により欠測		平成23年11月5日 13時30分～14時00分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	-	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	-	-	6.0E-04	0.30			2E-03
Cs-137 (約30年)	-	-	7.4E-04	0.25			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。